

6つのポイント集

縫う準備、糸調節の方法

型式：AG-005

取扱説明書 6～21ページの「ミシン各部のなまえ」「縫うための準備」を読むと、より理解しやすくなります。

STEP 1

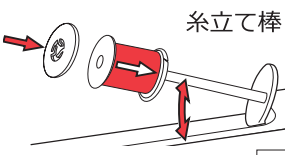
下糸の巻きかた

(P.15)

両手で糸をつまみ、上糸かけにかける。

上糸かけ

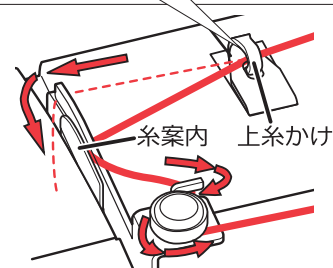
糸立て棒に糸コマを入れ、糸コマ押えを差し込む。糸立て棒を水平にもどす。



糸立て棒

上糸かけ

糸案内

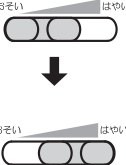


糸案内に通す。

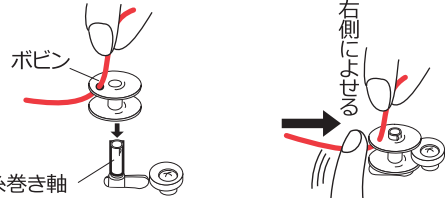
3

スピード調整つまみ

- ・最初に巻くときは「おそい」に合わせる。
- ・少し巻いたあとは「はやい」に合わせる。

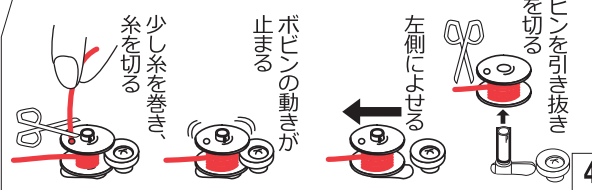


- ・ボビンの穴に内側から糸を通し、下糸巻き軸に差し込む。
- ・ボビンを右側によせる。



下糸巻き軸

- ・糸の端を持ちながらミシンを動かし、少し巻いてから止めて余分な糸を切る。
- ・ミシンを再び動かし、ボビンの動きが止まるまで巻く。
- ・ミシンを止め、糸巻き軸を左によせてボビンを引き抜く。



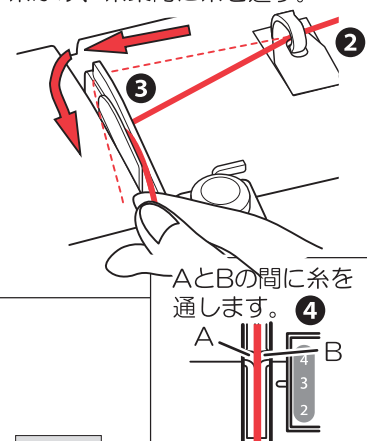
ボビンを引き抜き糸を切る

STEP 2

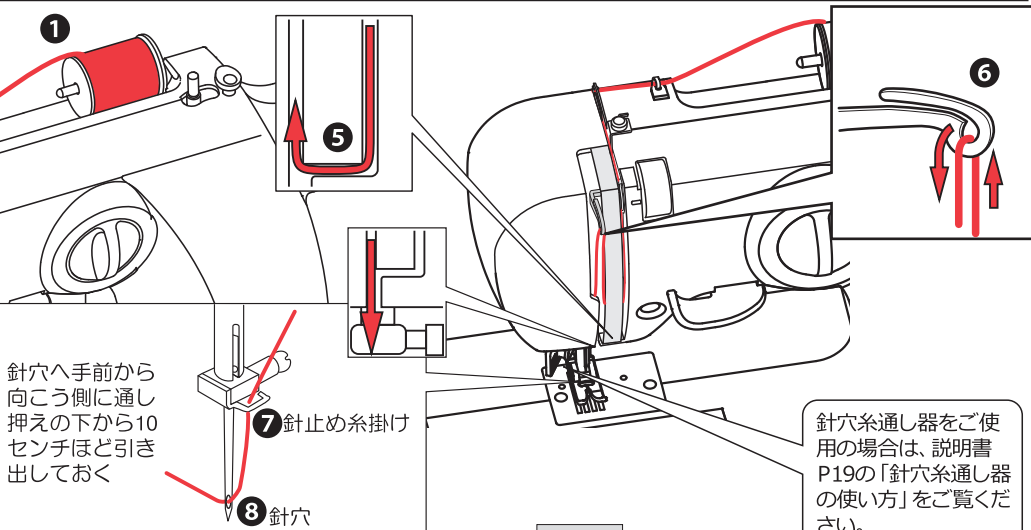
上糸のかけかた

(P.17)

糸かけ、糸案内に糸を通す。



AとBの間に糸を通します。



針穴へ手前から向こう側に通し押えの下から10センチほど引き出しておく

7 針止め糸掛け

8 針穴

針穴糸通し器をご使用の場合は、説明書P19の「針穴糸通し器の使い方」をご覧ください。

STEP 3

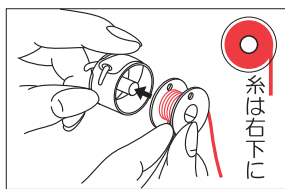
ボビンケースの取り付けかた

(P.16)

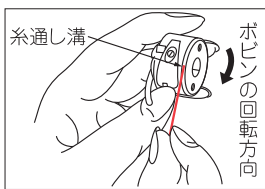
STEP 4

下糸の引き上げかた

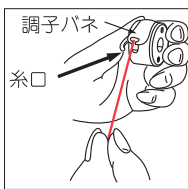
(P.20)



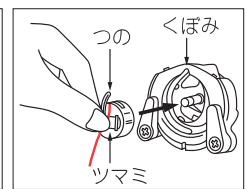
10センチほど糸を引き出しておきボビンケースの中に入れる



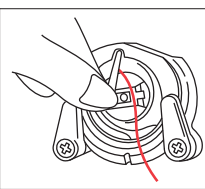
糸をボビンケースの糸通し溝に入れる。
*糸を引いたとき、ボビンは時計周りする



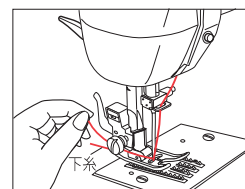
糸を左へひっぱり調子バネの下を通し、糸口から出す



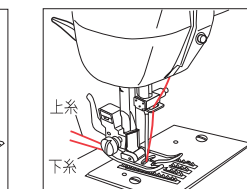
つまみを起こして持ち、つのをミシンの釜のくぼみに合わせて差し込む



しっかり差込んだ後つまみをはなして、糸は手前にたらししておく



左手で上糸を持ち、はずみ車を手前に一回転させる



上糸と下糸をそろえて押えの下に通し、10センチほど引き出しておく

上糸を軽く引き上げると下糸が引き出される

STEP 5

縫い始めの注意

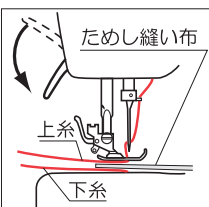
(P.22)

STEP 6

上糸・下糸調子のとりかた

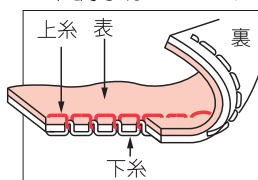
(P.23)

針に手を近づけないで下さい。



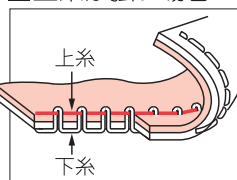
- ・はずみ車を手前に回して針を上げておき、押えを上げて布を入れる
- ・縫い始めの位置でははずみ車を手前に回して針を刺して押えを下げる
- ・布に軽く手を添えてスタートボタンを押す。

■糸調子が正しい場合



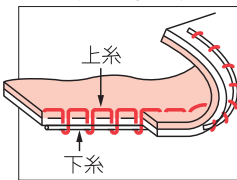
上糸と下糸が布の中間で交差し、布や糸がつかれたり、たるんだりしていない状態

■上糸が強い場合



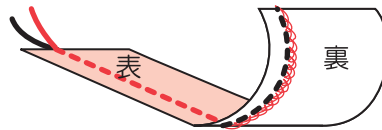
上糸と下糸が布の中間で交差し、布や糸がつかれたり、たるんだりしていない状態

■上糸が弱い場合



上糸と下糸が布の中間で交差し、布や糸がつかれたり、たるんだりしていない状態

■布の裏側の糸がタオル地のようなものは



- ・上糸調子が弱い
 - ・押え上げレバーが上のまま
 - ・上糸のかけ方が正しくかけられていない
- もう一度確認してください。

(小さい数字の方へ回す)

(大きい数字の方へ回す)

このポイント集はミシンを使うときの基本的なことを抜粋したものです。

お使いになる前にもう一度、説明書をじっくりお読みください

株式会社 アックス ヤマザキ